**小山市地域医療推進基本計画取組み施策実施状況（R2実績と達成率）に対するご意見**

資料４

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **基本方針１　安心して受けられる小山の医療の充実** | | | |
| 資料・ページ数 | 基本目標 | | コメント欄(評価できる点・気付いた点など) |
| 資料1  P.1～2 | (1) | 医療体制の充実 | **成果指標の進捗状況に関する意見**  【小林委員】（No.5　重傷者救急搬送困難事例数）  救急搬送の中等症以上の割合がH27と比較しR2は2.3ポイント上昇しているものの、約5割が軽症搬送の現状であるため、救急車の適正利用の啓発が引き続き必要だと思われます。外国語、やさしい日本語での啓発も実施しているのでしょうか？ |
| **取組み施策に関する意見**  【平井委員】（No.6　新小山市民病院脳卒中センターの運営）  コロナ禍の中でも、前年同様の通年満床状況、脳卒中センターの地域認知度の安定及び救急需要の継続は、小山市民にとって安心です。 |
| 資料1  P.3～4 | (2) | 安心して妊娠・出産及び子育てができる周産期・小児医療の充実 | **成果指標の進捗状況に関する意見**  【斎藤（真）委員】（No.9　こどもが急病のときに困らず病院を受診できた人の割合）  R2実績値が「未把握」なのはどうしてですか？  【斎藤（栄）委員】（No.12　地域周産期医療機関の整備・再開）  地域の周産期医療の機能向上（産科再開等）に継続努めてほしい。 |
| **取組み施策に関する意見**  【斎藤（栄）委員】（No.11　地域周産期医療機関の整備・再開）  母子ともに産前、産後のケアをより進め安心感を作って下さい。 |
| 【小林委員】（No.12　母子健康手帳交付時における妊婦支援事業）  R3年度は母子健康包括支援センターの開設により、全妊婦に母子手帳交付時の面接が可能となるため、より支援体制が充実することを期待します。  【手束委員】（No.17　とちぎ子ども救急電話相談（＃8000））  緊急時の対応として、あらかじめ母子手帳に記載してはどうか？  【平井委員】とちぎ子ども救急電話相談、毎月の広報、ホームページの啓発、母子手帳交付時に救急医療啓発チラシの配布は続けてください。  【平井委員】（No.19　各乳幼児健診）  各健診の受診率90％以上はすばらしい。感染対策を徹底し、健診の継続をしてください。未受診者への受診勧奨を行い、受診率向上につなげて下さい。 |
| 資料1  P.5～6 | (3) | 在宅医療体制の整備及び充実 | **取組み施策に関する意見**  【米澤委員】（No.23　訪問看護ステーションの整備及び充実）  訪問看護ステーションの現状の整備状況は？  【平井委員】訪問看護は、今後利用者が増えると思われますので、市民に向けた在宅医療講座及び普及活動が重要になると思います。  【手束委員】（No.24　在宅歯科診療を実施する歯科医療機関の整備及び充実）  　　　　　 　　（No.25　歯科衛生士による訪問指導事業）  在宅医療施設やリハビリテーション施設に年1～2回、オーラルフレイル検診を歯科医師、衛生士で行うようにしてはどうか？誤嚥性肺炎の予防になると思う。  【小林委員】（No.25）達成度が２なのは、コロナ禍の影響により、実績が上がらなかったためということでしょうか？もしそうだとすると、コメントにコロナ禍による理由を入れてもよいのでは？ |
| 【小林委員】(No.27 在宅業務対応薬局の推進)（No.28　訪問薬剤指導の充実）  短期間で在宅業務対応薬局が大幅に増え整備が進んでいますので、訪問薬剤指導も併せて増えていくことで安心につながるのではないかと思います。 |
| 資料1  P.7～8 | （4） | 安心して医療を受けられる助成制度の充実 | **取組み施策に関する意見**  【米澤委員】（No.34　こども医療費助成制度）  こども医療助成制度において、高校３年までの拡大は？  【子育て家庭支援課回答】  ０歳児を対象として開始された本制度は、段階的に対象年齢を引上げ、平成２１年度には１５歳に達する日以降の最初の３月３１日までと対象年齢が拡大されました。また、窓口負担のない現物給付についても段階的に拡大し、令和元年１０月からは、県内医療機関等での現物給付を中学３年生までとし、支援の充実を図ってきたところであります。  　こうした取り組みの一方で、医療費助成に係る市の負担は年々増加しており、県からは市・町の負担軽減のために補助金をいただいておりますが、１３歳から１５歳までの生徒に対する助成分は補助金の対象とならず、市独自の支援となっている状況です。  当該制度の一層の充実は、本市としましても重要な課題の一つです。少子化対策の一環として、国・県の財政的支援を受けて対象事業の拡大をしていきたいと考えており、県に対しては、補助対象年齢の引上げを強く働きかけているところです。 |
| 資料1  P.9 | (5) | 災害時における医療体制の充実 | **取組み施策に関する意見**  【小林委員】（No.43　災害時応援協定締結推進事業）  災害時における相互応援協定は目標値を上回る実績がありますが、医療関係機関との協定締結は新型コロナウイルスの関係で進捗が現在は難しい状況ということですか？ |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **基本方針２　良質な医療を受けるためのネットワークの構築** | | | |
| 資料・ページ | 基本目標 | | コメント欄(評価できる点・気付いた点など) |
| 資料2  P.1 | (1) | 施設連携・機能連携の推進 | **取組み施策に関する意見**  【小林委員】（No.46　医療福祉資源リストの作成及び活用）  R2年度は計画通りに進まなかったようだが、「在宅医療マップ」はわかりやすく、活用しやすい内容になることを期待したい。 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **基本方針３　地域医療を守り育てる意識の醸成** | | | | |
| 資料・ページ数 | 基本目標 | | コメント欄(評価できる点・気付いた点など) | |
| 資料3  P.1～6 | (1) | 市民の健康意識の醸成 | **成果指標の進捗状況に関する意見**  【斎藤（栄）委員】（No.41　介護予防事業体操普及事業参加者数）  コロナ感染防止のため、活動停止は適正であったが、再開後のフォローが重要です。 | |
| **取組み施策に関する意見**  【斎藤（真）委員】（No.68　健康長寿はとむぎ100歳事業）  方向性が「D」となっているが、「E」でも良いのでは？  【小林委員】（No.72　健康料理教室）  動画を活用した料理教室は効果的で良い取組みだと思う。  【小林委員】（No.81　健診結果説明会）  個別相談を主に実施することで、より個々の生活に合った相談につながったのではないかと思う。把握した健康ニーズを今後の事業に生かしてほしい。  【斎藤（栄）委員】（No.86　いきいきふれあい事業）  この事業は各地域のボランティアが支えているが、皆様の高齢化が進んでいます。次代を支える人員確保が大切である。  【平井委員】今までのいきいきふれあいの在り方から、コロナと共に生きる生活の中で、ボランティア、利用者にアンケートを取り、新しい形でのいきいきふれあい事業を考える時期だと思います。  【平井委員】（No.90　認知症サポーター養成事業）  この事業では、私は認知症キャラバンメイトとして、コロナ禍の活動はできませんでした。この１年半の中で、認知症かなと思える人に出会うこともありました。市民の方に認知症を正しく理解していただくために、少人数でサポーター養成講座開催に向けて、考えていきたいと思っております。 | |
|  |
| 資料3  P.9 | (2) | 協働ですすめる  地域医療の実現 | **取組み施策に関する意見**  【小林委員】（No.116　小山の地域医療を考える市民会議の開催）  会議の開催もあまりできない中、市民会議だよりを発行し、ホームページQRコードを載せるなど、積極的に活動内容の周知をしている。 |

**○その他　全体評価・ご意見**

|  |
| --- |
| 【手束委員】　老人ホーム、リハビリ病院や施設でのフレイル検診で口腔ケアをする事は、高齢者の住みやすい都市で上位の小山市に  とって、全国的な先駆けとして小山市のPRになると思う。担当する歯科医師、衛生士がいない施設は歯科医師会、  歯科衛生士会で派遣します。  【米澤委員】　・コロナ禍において、計画実施は難しい状況であるが、極力簡素化し、Web中心になるかと思われます。R４年度以降の方向性は？  　　　　　　　　　・市民病院等の入退院カンファに積極的に参画できればと考えます。（保険薬局として）  【小谷委員】　個別事業というわけではありませんが、コロナを経ての出来たこと、出来なかったことのリストを別表化していくと良いかと思います。  全体にはよくやられていると思われます。withコロナによる新たな態勢への移行を念頭に置きつつ、ご検討願います。  （デジタル化、ハイブリッド情報提供、事業とそのやり方の取捨選択、働き方など）  【小林委員】　新型コロナウイルスの影響により、計画どおりに事業の実施ができなかった状況があったと思うが、感染防止対策を講じ  ながら、人数制限やオンラインでの開催、個別対応への変更等、より良い方法を模索し、手法を変えて実施しているものも  多かった。  【野口委員】　昨年から続いているコロナウイルス感染症に伴う様々な対応、取組みに関し医療関係皆様のご尽力に心より感謝申し上げ  ます。当初においても、コロナワクチン職域接種に関する検討を行い、小山地区医師会、小山市の方にもお世話になりました。  森永製菓様の職域接種の空いた接種枠により、当所関係者６５名が２回目まで接種致しました。 |